

九州幸友会 見学会レポート

場所：福岡地区水道企業団 海水淡水化センター（まみずピア）
開催日：2026年7月7日

概 要：九州幸友会 見学会

開催日：2026年7月7日（火） 13:30～（約2時間）

場 所：福岡地区水道企業団 海水淡水化センター（まみずピア）
<https://www.f-suiki.or.jp/facility/kaitan-center/>
（〒815-0031 福岡市東区大字奈多1302-122）

参加者：25名（会員企業10社16名／ワキタ社員9名）

（株）荏原製作所、ヤンマー建機（株）、（株）鶴見製作所、（株）福岡九州クボタ、
（株）クボタ建機ジャパン、（株）AIRMAN、住友建機販売（株）、日立建機日本（株）、
ユニック九州販売（株）、東日興産（株）

内 容：施設概要説明、ビデオ上映、中央操作室・逆浸透膜設備見学

開催の背景・目的：

九州幸友会として初めての見学会開催となりました。会員企業様との関係強化と、業界に関する知見を深めることを目的に、日本最大級の海水淡水化施設への見学会を企画いたしました。

施設紹介：海水淡水化センター（まみずピア）

当日は、施設が設立された経緯についてのご説明に始まり、紹介ビデオの鑑賞、そして中央操作室や逆浸透膜設備の見学へと続く、約2時間の充実したツアーとなりました。



海水淡水化センター（まみずピア）外観写真
※HPより抜粋

慢性的な水不足から生まれた施設

福岡市は政令指定都市の中で唯一1級河川を持たない都市であり、過去には200日を超える取水制限を幾度か経験するなど、福岡都市圏は慢性的な水不足という課題を抱えていました。近隣の1級河川（筑後川水系）からの取水に頼らざるを得ない実情があり、それが本事業創設のきっかけとなったとのことです。

海の中道奈多海水淡水化センター(まみずピア)

企業団では、ダム建設をはじめとした水資源の開発に積極的に取り組んできましたが、増大する水需要や頻発する渇水への対応策、また流域外の筑後川水系に多くを依存する福岡都市圏の自助努力のひとつとして、海水淡水化施設を建設し、平成17年6月に供用を開始しました。



イメージキャラクターの
真水(まみ)ちゃんとしおっぴー



所在地	福岡市東区大字奈多1302-122
敷地面積	約46,000㎡(小学校約3校分)
建築面積	約16,000㎡(地上2階)
取水及び処理方式	浸透取水方式(玄界灘) 最大取水量103,000㎡/日
海水淡水化方式	逆浸透方式(RO膜)
生産水量	最大50,000㎡/日(約25万人分/日) ※日本最大
放流方式	和白水処理センター処理水との混合放流(博多管内)
関連施設	多々良混合施設、下原混合施設、導水施設(導水管 口径800mm×総延長約21km)
供用開始	平成17年6月1日

国内最大規模の海水淡水化施設

そして、本施設が逆浸透法による海水淡水化施設としては国内最大規模（最大生産量50,000 m³/日）であること、浸透圧を再利用した発電事業を実用化に向け進めていることを学びました。



見学の様子

中央操作室や逆浸透膜設備を間近で見学し、先進的な水処理技術への理解を深めました。
また、浸透圧を活用した発電事業の実用化に向けた取り組みについてもご紹介いただきました。水中ポンプメーカー各社様をはじめ、多くの参加者様が熱心に説明に耳を傾けられておりました。



私自身福岡で生まれ育ちましたが、今回初めて知ることも多く興味深かったです。参加企業様からは丁寧なお礼状も頂戴し、大変充実した見学会となりました。

今回の見学会を通じて、会員企業様との関係をより一層深める貴重な機会となりました。今後も九州幸友会の活動を継続し、ジャンボフェアの成功、そして会員各社様との連携強化に努めてまいります。

(福岡営業所 所長)

